

令和4年度 北区立滝野川紅葉中学校 自己評価報告書

令和5年 2月15日

校長氏名 井口尚明 印

【記載について】

①「設問」とは学校評価アンケートの質問番号 ②標語はすべてA B Cの3段階 ③△は向上,▼は低下,→は変化なし

1. 学校経営計画に基づく主な取組と評価

(1) 教育活動への取組と評価

【目標1】 すべての教育活動の土台となる「落ち着いた教育環境」を築く …… 目標達成度

B

①数値目標の達成状況の分析

	評価
・生徒は明るく充実した生活（設問4）で肯定的評価が80%以上	B
・あいさつや授業規律など落ち着いた環境（設問5）で肯定的評価80%以上	B
・学校行事・部活・生徒会活動に関する設問で肯定的評価が80%以下	B

②学校評価アンケートによる達成状況の分析と評価

設問	質問内容	肯定的評価 %						否定的評価 %						昨年と比較	評価
		生	保	職	生	保	職	生	保	職					
設問 4	充実した生活	71	73	77	26	21	23	△	B						
設問 5	落ち着いた教育環境	67	68	81	29	21	19	△	B						
設問 11	学校行事	75	72	86	23	21	14	→	B						
設問 12	部活動	75	74	77	20	17	23	→	A						
設問 13	生徒会活動	68	53	64	27	25	36	→	B						

③目標達成するための重点方策の実施状況の評価

	評価
・道徳の時間の計画的実施と適切な評価、指導法の工夫	A
・対話的な学び（言語活動、表現活動等）の工夫	A
・あいさつ等の落ち着いた習慣の向上	B
・内面の指導や心の育成を大切にされた指導の充実	B
・リーダーの育成と自治意識を高める指導の充実	B

A

【目標2】 安心・安全をすべてに優先して教育活動を行う …………… 目標達成度

①数値目標の達成状況の分析

	評価
・重大ないじめ、体罰、暴力事件を0件にする	A
・生活アンケート3回体罰アンケート1回実施し、必要に応じて二者面談を実施	A
・校内体制の不備で病院にかかるような事故の発生件数を0件にする	A

②学校評価アンケートによる達成状況の分析と評価

設問	質問内容	肯定的評価 %						否定的評価 %						昨年と比較	評価
		生	保	職	生	保	職	生	保	職					
設問 6	要望への対応・教育相談	55	55	77	38	26	18	→	C						
設問 7	健康・安全教育	71	67	82	26	19	18	→	B						
設問 18	環境整備・美化	82	82	86	17	13	14	△	A						
設問 20	指導体制・緊急対応	72	51	73	23	24	27	→	B						

③目標達成するための重点方策の実施状況の評価

	評価
・いじめや暴力を決して許さない指導の徹底	A
・専門員等を中心とした学校不適応生徒への支援体制の充実	B
・避難訓練等の安全指導の充実	A
・S CやS S W、巡回指導教室、相談センター等との連携	A

【目標3】 開かれた学校と教職員が働きがいのある環境を築く…… 目標達成度

①数値目標の達成状況の分析		評価
・ホームページの毎日更新と学年便りの昨年以上の発行回数		A
・学校の指導体制不備による地域や家庭からの苦情を0件		B
・月1回のノー残業デーの実施と年休取得日数の向上		B
・教職員の在校時間合計を昨年度より縮小		B

②学校評価アンケートによる達成状況の分析と評価

設問	8	進路情報の提供	肯定的評価 %					否定的評価 %					昨年と比較	評価		
			生	65	保	45	職	81	生	29	保	36			職	14
設問	15	目標や方針の提示	生	58	保	49	職	68	生	36	保	33	職	32	▼	C
設問	16	説明責任・学校の姿勢	生	58	保	51	職	77	生	33	保	28	職	23	→	C
設問	17	情報発信	生	75	保	85	職	91	生	20	保	11	職	9	△	A

③目標達成するための重点方策の実施状況の評価

③目標達成するための重点方策の実施状況の評価		評価
・教育活動に関する定期的な情報提供（各種便り、ホームページ等）		A
・進路や高校受験に関する情報提供の工夫		A
・北コンを活用した資料の電子化と会議運営・校務作業の効率化		A
・ライフワークバランスのとれた職場環境の構築		B

(2) 重点目標への取組と評価

【重点目標】 主体的に学び、進んで表現する生徒の育成…… 目標達成度

<課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育成する授業を実践する>

①数値目標の達成状況の分析		評価
・「授業に関する設問1、2」の肯定的評価が80%以上		B
・北区基礎基本調査の活用問題の達成率で全学年とも区平均以上		B
・北コンを活用した研究授業を年3回実施		A
・指導案を作成した公開授業を全教員が年2回実施		B

②学校評価アンケートによる達成状況の分析と評価

設問	1	授業のわかりやすさ	肯定的評価 %					否定的評価 %					昨年と比較	評価		
			生	70	保	38	職	91	生	38	保	28			職	9
設問	2	思考判断表現力の育成	生	81	保	36	職	77	生	18	保	31	職	23	△	B
設問	3	評価評定の透明性	生	74	保	52	職	73	生	25	保	34	職	22	△	B

③目標達成するための方策の実施状況の評価

③目標達成するための方策の実施状況の評価		評価
・新学習指導要領の視点に立った授業実践と指導と評価の一体化		B
・北コンなどのICT機器を活用したわかりやすい授業の実践		A
・生徒同士や教員と生徒が関わりあう対話的な授業の実践		A
・課題把握、思考、交流、振り返りが明確で1単位時間のまとまりある授業の実践		B
・表現する場面（アウトプットの場面）を重視した授業の実践		A

2. 次年度以降の課題と対応策

課題1 主体的に学び進んで表現する生徒の育成を目指した授業を全教科で充実させる

主体的に対話的な深い学びを取り入れた授業実践や北コン等のICTの効果的な活用は、教科によってはばらつきがあったが全般的に昨年以上に充実させることができた。学校評価アンケートの結果にもその成果が現れていた。しかし、学力調査等の数値の向上という形では明確に現れていなかった。引き続き、わかりやく見通しの持てる授業や思考力判断力表現力を高める授業等の充実を校内研修の主題に据え、研究授業等を継続して行っていく。また、今年度も評価評定に対するきびしい意見が見られるため、指導と評価の一体化に関する研修を通して適正で信頼される評価の精度を向上させることが課題である。生徒が身につけるべき力の向上を的確に捉える評価を充実させ、評価評定算出の工夫を通じた授業改善を目指していく。

課題2 学校組織を生かした指導や取組を充実させる

安心安全を優先した教育活動、落ち着いた教育環境を向上させる取り組み、生徒の自治意識を高める取り組み等、教員が意欲的に様々な活動を工夫して実践していた。しかし、今年度も組織的な視点から振り返ると大きな課題が残った。主幹会議や運営委員会での連携の強化を図るとともに、主幹主任層にリーダーシップを発揮させ教員からアイデア等を吸い上げトップダウンとボトムアップを適切に組み入れていく。